

チーム一中



やまゆり

一宮町立一宮中学校
 生徒数 306人(1年95名・2年103名・3年108名)
 発行者 校長 竹之内 達生
 電話 0475-42-3079

【学校教育目標】

「輝く知性と豊かな心と健やかな体を育み、
 人間性あふれる生徒の育成」

めざす生徒像

い	命を大切にし、おもいやりのある生徒	【友情】
ち	力を合わせ、協力を重んずる生徒	【団結】
の	のびのびと、明るく健康で体力のある生徒	【頑強】
み	未来に夢を描き、意欲的に学ぶ生徒	【夢】
や	やる気とけじめをもち、礼儀正しい生徒	【礼節】

やまゆり祭開催と新生徒会への期待

(1) はじめに：やまゆり祭の実施について

生徒たちはやまゆり祭の中で行われる合唱コンクールに向けて、朝・昼・放課後と練習に励んでいます。現在、帰りの学活終了時刻は10分延長しています。

すでに文書にてお知らせいたしましたが、今年も新人戦の県大会の日程等を考慮し、全員が参加できるように**10月18日(金)の平日開催**とさせていただきます。

先週は1、2年生が中間発表会を行い、今週月曜日は3年生が中間発表会を行いました。自分たちの課題を見つけたり、今後の練習について確認しあったりしている様子が伺えます。今、どのクラスも合唱コンクールに向けて一丸となって取り組んでいきます。

合唱コンクールへの取り組みの中で、子どもたちは本音をぶつけ合い、「合唱」という一つのものを創り上げていきます。ご家庭で愚痴をこぼすこともあるかもしれませんが、そっと聞いてあげていただけたらと思います。

この1ヶ月間の取り組みの中でクラスの団結が高まり、様々な場所で生徒が輝くことを期待しています。

平日開催となり、保護者の皆様には大変申し訳ございませんが、是非ともご来校いただきご参観くださいますようお願い申し上げます

また、校外の活動においては部活動では長生郡市新人体育大会が10月5日まで行われていました。3年生が抜けた後、2年生が中心となって「一生懸命」に活動している姿が見られました。

たくさんの保護者の皆様に応援に来ていただき、熱い声援を多くっていただきありがとうございました。



各種コンクール・大会でも、その場その場で輝く生徒の姿が見られます。

「文武両道」をめざし、文化面・運動面の両面で、優勝、上位入賞、県大会出場等の優秀な成績を残し活躍しています。

今後の活躍も楽しみな一宮中の生徒たちです。

(2) 新生徒会の誕生

10月9日(水)に、生徒会役員選挙が行われました。今年は信任投票で、全員が信任され本日(10日)に任命式が行われ、新生徒会が誕生しました。

竹内会長を中心とした旧生徒会役員から、新生徒会役員体制に変わる節目の日となりました。

先週から新生徒会に立候補した生徒とその人たちを応援している生徒たちが、正門を入ったところから昇降口までの並び、挨拶運動や清掃活動を積極的に行ってくれていました。



立ち会い演説会では「学校生活をより充実させたい。あいさつや礼儀、規律をさらに守れる学校にしたい。学校行事を盛り上げ充実させたい。」など、それぞれの立候補者が抱負を述べてくれました。意欲みなぎる新生徒会の皆さんを中心に、新たな息吹を吹き込んで欲しいと願っています。

【新生徒会メンバー】

会 長	野 口 叶 夢
副 会 長	長谷川 結 生 秋 山 由 奈
常 任 委 員	田 中 希 弥 秋 山 陽 奈 内 山 綾 也 松 戸 潮 音



(立ち会い演説会と投票箱に投票している生徒の様子より)

(文責 校長 竹之内達生)

新人戦でも活躍！ 一宮中

(3) 新人戦の結果報告PART 2

10月5・6日に行われました新人戦等の結果をお知らせいたします。

卓球 長生郡市新人体育大会 シングルス 優勝 三上 海斗



バレーボール 長生郡市新人体育大会 第3位



【その他の大会】

柔道 茂原市民体育祭 男子(階級別) 2年生の部 優勝 鵜澤昇矢 室川翔太郎 準優勝 近藤陽斗 女子(階級別) 1年生の部 3位 高梨真白

(4) 長生郡市音楽発表会より

10月2日(水)に長生郡市音楽会が長生村文化会館にて行われました。

茂住先生の指揮のもと、生徒たちはレベルの高い演奏を聴かせてくれました。

柔らかい音色が会場に響き、とても心地よさを感じました。

新体制になっても一人一人がしっかりと練習しており、美しいハーモニーを奏でていました。やまゆり祭で、その演奏を聴くことができますので楽しみにしててください。



【長生郡市作文コンクール 優秀作品より】
もう一度チャンスを

1年 高梨 海斗

僕は、よく祖父や祖母の農作業を手伝っている。なぜなら、欲しかったものを買っててくれ、苦しいときは後押しをしてくれた祖父母へ、農作業の手伝いは、僕にとって唯一、恩返しができる場になるからだ。トマトやスイカ、米など、時期によって変わる作物。作物ごとに育て方が違い、初心者の僕は、できないことが多かったが、自分にできる範囲で、できるだけ頑張っていた。

中学生になって初めての夏休み。小学校の時より部活動が多くなり、比較的早く起きる日も多くなった。僕は、昼に眠くなることができないから昼寝もなかなかできず、夜も眠いことが多々あり、ゆっくり休めるのは朝だけだった。吹奏楽部のコンクールが終わり、やや長めの何もない日がやってくる。僕はゆっくりと休み、宿題も進め、迫り来る二学期に備えようとした。だが、その頃、祖父が腰を悪くしてしまい、ともに農家の仕事をするができなくなってしまった。そして、祖母からはすぐに手伝うよう依頼が来た。いつも通りの作業なら午前九時頃からの作業になるため、少しはゆっくり寝ていられると思い、仕事を手伝うことにした。

しかしその後、僕は仕事が午前五時からの作業であることを告げられる。

一時は断ることも視野に入れてはいたが、祖父が動けなくて、祖母ひとりで仕事をしていることを考えたら、断ることができなくなった。

そして、いよいよ仕事が始まる。いつもより早い時間に起き、外気より熱いビニールハウスの中で二、三時間にも及ぶ力仕事。でも毎年みんなは同じことをやっていると考えれば、やる気は出た。

ところがこの仕事は何日間か長引いたことにより、僕も体力はへろへろに。正直な気持ち、もう仕事は嫌だと思っていた。

そしてあくる日のこと。僕は、長引く仕事と早起きのストレスが溜まってしまったのか、弟との口喧嘩や仕事に対する文句を言うようになってしまった。それに見かねた祖母は、僕と弟に仕事をやめて休んでいいよと、簡単に言えば解雇を言い渡されたのだ。

家に帰った後僕は後悔した。文句を言わなければ。無駄な喧嘩をしなれば。そうすればもっと祖父母だけでなく、自分達の生活にも貢献できたのに。しかし弱音を吐いていても現実是不変変わらない。だから、もう一度仕事をさせてください。もう一度チャンスをくださいと頼みにいきたいと思っている。

自分の不満が起こした言葉や行動によって、完璧な自業自得になってしまった。しかし、自分の起こした問題は、自分で解決したい。

従順に、ただ冷静に仕事をするために頑張ろうと強く思っている。